



メール碁で楽しい「める碁会」



快適なメール碁の世界へ

める碁会のご案内

こんにちは！ ようこそ、ご来場下さいました！

「める碁会」は、どなたでも入会できます。入会すると窓口の担当者からソフトのインストールの仕方や対局方法などについて、詳しいご案内が送られてきます。ソフトを入手すると、直ぐに対局が可能になります。

パソコンの操作や対局の方法は、事務局で丁寧にフォローいたします。操作に慣れない場合は、事務局の担当者が対局のお相手をしますので、安心して対局への第一歩を踏み出すことが出来るでしょう。

ご心配はまったくありません。まずは、「める碁会」の会員の皆様 の生の声をお聴き下さい。

メール碁は1手ずつですが、時間に捉われずに気の向いた時打てるのが良く、対局ではコメントの中でその方の住んでいる様子とか、性格を打ちなら知ることが出来る。ここが面白いところです。

ネット碁は対局が煩わしいですね。(80歳代男性 五段)手ずつです

メール碁は私の生活の一部になっております。大きな楽しみは出会いでしょうか。囲碁が強くなりたくて、パソコンに挑戦！そして、「める碁会」の存在を紹介していただきました。

今では、パソコンと囲碁は切り離せません。年齢や性別に関係なくおしゃべりもできます。(60歳代女性 初段)



「める碁会」のメール碁のいいところ。
好きな時間にできる。1手だけなので短時間ですむ。着手を決めるのにいろいろ検討し、納得のいく1手を決められる。

ネット碁のように長時間必要としない。盤碁に比べてポカが少なくなる。

棋譜につけるメモ程度の言葉のやり取りも楽しい。(60歳代女性 四段)

メール碁の魅力は顔色をうかがう事無く、適当なおしゃべりをしながら対局出来る事。自分の趣味に通じる人との対局は、とても楽しい。

陶芸や絵画など互いの趣味を交しながらの3局同時進行です。古都に住みながら、大都会の情報もいただき、写真の交換などもしています。(70歳代男性 1級)局絵画や陶

ほんの僅かですが、会員のメッセージをご紹介しました。『以下のような疑問のある方』に、答えを用意しました。

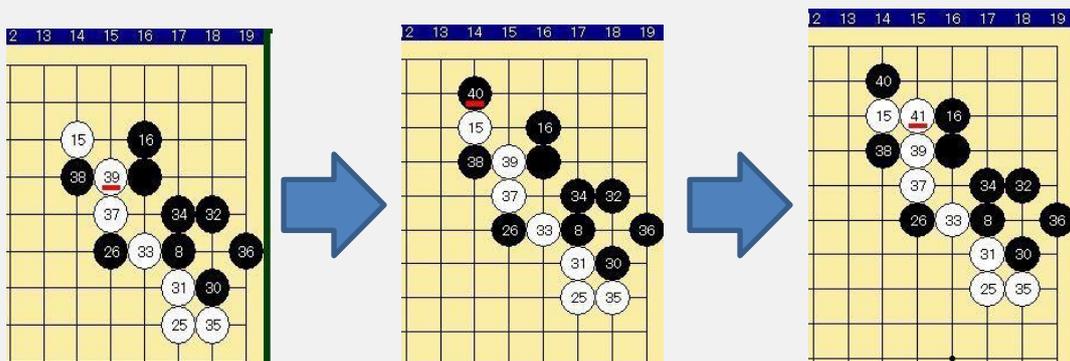
★「メール碁とは？」

「める碁会」のメール碁は、専用のソフトを使用して対局します。1人の対戦相手に対して、通常は2局程度ずつ対局しております。もちろん、3局でも4局でも問題はありません。

自分の打った手(棋譜)を対戦相手に送信する。受けたほうは、その棋譜を専用の碁盤に落として(ドラッグ&ドロップする)相手の手を確認し、次の手を打って返信する。この繰り返しのよって対局が進行します。

このように1手ずつ進めるのがメール碁の特徴です。

⇒ 下図を参照下さい。



★「終局まで数か月もかかるメール碁！そんな碁なんて、どこが面白い？」

ネット碁(RT碁)は、始めたら終局するまでパソコンに向かってなればなりません。メール碁はネット碁と異なり、1局の終了まで1時間余もパソコンに張り付いている必要がない。こちらの手を打ったら、相手方から返信がくるまで、優雅に待つ余裕もある。そんなことで、家事に忙しい主婦の人たちも参加できるし、日々のメールの交換で対局を楽しんでいる。

囲碁という共通の趣味を楽しみ、味わいながら、全国各地いや海外に住む方ともお友だちになれる。メールというITを活用し、棋友からはその土地ならではの生のニュースもいただける。

メールでの「おしゃべり」は、東京や横浜に住む方々が大阪在住のメル友に会いにゆくという逸話も生まれた。朝方や夜のひと時に、メールを発信したら、あとはテレビの野球観戦もできる。一人ひとりに、その人なりの楽しみ方があります。

める碁会の会員でネット碁を優先する方は、ほとんど聞こえてこないようです。会員の方々は、それぞれに数人の方々と対局をしております。

みな、「メール碁に、はまってしまった」。そんな感じでしょうか。

★「入会すると強くなれるかな？」

ネット碁に対するメール碁の魅力 !! 入会は棋力アップに繋がる !!!

具体的には下記のような事です。

- ①一手ずつの進行ですから、プロのタイトル戦で行われる「封じ手」の連続で対局が進行します。時間をかけて、相手をドキッとさせる手や妙手を探すことで、ネット碁で単純に対局を繰り返すより碁の実力が上がります。
- ②「これは難しい局面だという時」、定石の本などを調べることもできます。相手が打って来るだろうという手を盤面に置いて、その先をさらに検討して、自分の手を決めることができます。
- ③ 納得できるまで調べて、自分の読みの通りになったときは、嬉しいものです。もちろん本の助けなどを借りずに、自分の頭だけを頼りに打つと決めてやってもいいわけです。
- ④碁を打って一番悔しいのは、ポカによる負けですね。メール碁は時間をかけて検討できるので、ポカが相当へり実力以上の碁が打てます。これにより当然、実力もついてきます。盤碁より楽しいことも多い。

入会すると、強くなれますよ!!!

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">碁ワールドおすすめ囲碁ライフ</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-size: 2em; font-weight: bold;">メールで碁を打つ</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright; font-size: 2em; font-weight: bold;">『める碁会』</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">90歳で五段から六段へ 元気湧刺！ 安間恒保さんインタビュー</p>	<p>90歳にして元気湧刺 ～五段から六段へ</p> <p>メールで碁を打つめる碁会</p> <p>める碁会の会員数は現在のべ 350 余名。最長老は本年2月に91歳になられる安間恒保さん(東京都中野区在住)。毎年、春・秋に開催される懇親碁会では2013年から14年にかけて優勝、準優勝を重ね五段から六段へと昇段した。まさに90歳の快挙。</p>
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

上記は、2015 年の碁ワールド7月号に掲載された「める碁会」の記事。
 むる碁会で益々棋力もアップ !! 懇親碁会も毎回参加だから凄い !!!

★「自分程度の強さでも相手がいるかな？」

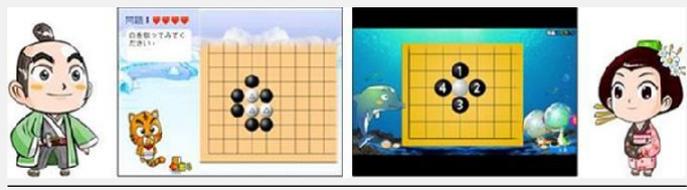
「める碁会」には多くの棋友が在籍しており、高段者から初心者まで、様々な方々が対局を楽しんでおられます。どのような強さの方でも、お相手に不足するようなことはありません。

同じような棋力の方々が対局する公式戦には「段級位戦」があり、「大手合」では、運営委員がご希望する棋力の方を紹介しています。また、「める碁会」の最強者を競う「本因坊戦」は予選を含め、2年間に亘って対局しています。この勝者には、賞金とともに《める基本因坊》の称号が贈られています。

★対局の相手 級位者囲碁教

当会では入会者の皆様に、ご自分の棋力に合った対局相手をご紹介します。また初心者の方には「級位者教室」が用意されており、高段者が指導し、解説いたします。

ご自分の棋力に関係なく、メール碁を楽しめるよう「める碁会」では万全の体制でお待ちしています。



棋士の指導碁も受けられる

「棋士指導碁」

当める碁会には日本棋院本院の加藤充志九段と青葉かおり四段が顧問に就任をしております。加藤九段にはメール碁を用いて会員への指導碁をお願いしており、青葉四段には春と秋に行われる懇親碁会に参加いただき、実戦での指導碁をお願いしております。(2015.8.31)

この指導碁には、どなたでも参加できます。

懇親碁会・外部団体戦などへの参加



～懇親碁会 青葉かおり棋士の指導碁～



～外部団体戦の一コマ～

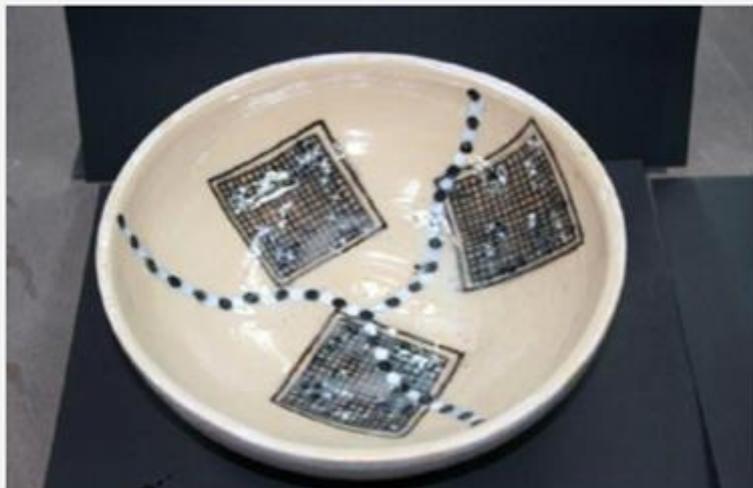




歓迎 !!ご入会!!

ご入会の申し込みは、める碁会事務局 まで

<mailto:nyukai@merugo.jp>



上記の画像は、める碁会会員 田川進氏による作品です。

ご入会を心よりお待ちしております。(文責：渡辺)